

第七十一回帝國議會
衆議院

貿易及關係産業ノ調整ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記) 第四回

會議

昭和十二年八月六日(金曜日)午前十一時五十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 増田 義一君

理事寺島 權藏君 理事行吉 角治君

理事中村 梅吉君 理事川崎巳之太郎君

飯塚春太郎君 津原 武君

渡邊玉三郎君 木村 淺七君

西村金三郎君 川副 隆君

江羅直三郎君 中田 儀直君

田中源三郎君 吉植 庄亮君

松浦 伊平君 坂田 道男君

高岡 大輔君 加藤 鍊造君

井上 良次君 三田村武夫君

出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 松嶋 鹿夫君

外務事務官 山形 清君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工省工務局長 小島 新一君

商工省統制局長 黒田 鴻五君

貿易局長官 寺尾 進君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貿易及關係産業ノ調整ニ關スル法律案

(政府提出、貴族院送付)

貿易組合法案(政府提出、貴族院送付)

工業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○増田委員長 是ヨリ貿易及關係産業ノ調整ニ關スル法律案外二件ノ委員會ヲ開キマ

ス——午後一時三十分ヨリ開會スルコトニ

致シマシテ、此際暫時休憩致シマス

正午十二時休憩

午後二時開議

○増田委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開

キマス、質疑ハ昨日ヲ以テ終了致シマシタ

ガ、委員長ヨリ政府委員ニ確メタイコトガ

アリマス、ソレハ農、林、畜、水産物ニ關

スル貿易組合法ノ運用ニ付テノ喜多委員ノ

質問ニ對シ、過日政府委員ヨリ爲シタル御

答辯ハ、第七十議會ニ於ケル伍堂商工大臣

ノ答辯、即チ「農林畜水産物ノ貿易組合ニ

付キマシテ、貿易組合法第九條、第十八條、

第三十四條及ビ第四十五條ヲ適用致シマス

場合ニ於キマシテハ、商工大臣、農林大臣

協議シテ之ヲ行ヒマス旨、勅令ヲ以テ規定

致シマス、尙ホ貿易組合法ニ於キマシテモ、

産業組合ニ付キマシテハ從前ノ輸出組合法

ノ場合ト同様デアリマス、隨テ實際ノ取扱

ニ於キマシテハ前申上ガマシタ勅令ノ規定

ニ依リ、各具體の事情ニ應ジマシテ商工、

農林大臣ニ於キマシテ十分協議ヲ遂ゲ、何

等支障ヲ來サヌヤウ致シマストノ答辯ト同

一趣旨ト了解シテ差支アリマセヌカ

○木暮政府委員 御答致シマス、其通りデ

アリマス

○増田委員長 是ヨリ討論ニ入りマス、發

言ノ通告ノ順序ニ依ッテ許可致シマス——

中村君

○中村委員 民政黨ハ政友會並ニ社大、第

一議員俱樂部ノ諸君ト協議致シマシタ結

果、三項ノ附帶決議ヲ付スルニ意見ノ一致

ヲ見マシタノデ、左ノ三項ノ附帶決議ヲ付

シマシテ、原案ニ賛成致シタイト思ヒマス

附帶決議

付託議案
貿易及關係産業ノ調整ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
貿易組合法案(政府提出、貴族院送付)
工業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

一 貿易及關係産業ノ調整法ハ内外地

共通ノ適用ヲ見ルニアラサレハ本法本

來ノ目的ヲ達成スルコト困難ナルヲ認

ム、依ッテ政府ハ外地ニ對シテモ本法ヲ

適用スルノ方途ヲ講スヘシ

一 政府ハ輸出入ノ統制ニ依リ物價ノ騰

貴ヲ來ササルヤウ特ニ注意スヘシ

一 政府ハ北支事變ニ依リ對支貿易ニ打

撃ヲ被リツ、アル關係當業者ニ對シ新

販路開拓ノ對策ヲ講スヘシ

以上ノ通りデアリマス

○増田委員長 川崎君

○川崎委員 吾々政友會ノ側ハ民政黨、社

大黨、第一議員俱樂部等ノ方々ト御協議ヲ

申上ゲマシタ附帶決議ヲ付シテ、此三案ニ

賛成シタイト思ヒマス、其附帶決議ヲ只今

朗讀致シマス

附帶決議

一 貿易及關係産業ノ調整法ハ内外地共

通ノ適用ヲ見ルニアラサレハ本法本來

ノ目的ヲ達成スルコト困難ナルヲ認ム

依テ政府ハ外地ニ對シテモ本法ヲ適用

スルノ方途ヲ講スヘシ

一 政府ハ輸出ノ統制ニ依リ物價ノ騰貴ヲ來ササルヤウ特ニ注意スヘシ

一 政府ハ北支事變ニ依リ對支貿易ニ打撃ヲ被リツ、アル關係當業者ニ對シ新販路開拓ノ對策ヲ講スヘシ

附帶決議ハ以上ノ通りデゴザイマス、尙

ホス様ナ決議ヲ付スルト共ニ、速記録ニアリマスル通りニ、各委員ノ熱誠ヲ以テ陳辯セラレタコトハ、當局者ガ此法律ヲ實行スルニ當ッテ、篤ト注意セラレルヤウニ希望致シテ贊成ヲ致ス者デゴザイマス

○増田委員長 高岡君

○高岡委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、只今各派ノ共ニ決シマシタ三項ニ互ル附帶決議ヲ付シマシテ、此案ニ贊成ヲ致シタイト思ヒマス、唯此際一言申述ベタイコトハ、普通通念トシマシテ官吏ハ兎角概念ノ上ニ立タレ、概念ガ又更ニ其集約シタ概念ノ上ニ立チ、法案トシテ現ルル時ニハ最小公約數ノ上ニ立タレテ、法文化スル點ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、勿論官廳ニハ御歴々ガ澤山オ居デデアリマスカラ、萬違算ナキコトトハ思ヒマスケレドモ、結局佛作ッテ魂ノ入ラナイト云フ結果ニ陥リ易イノデアリマスカラ、或ハ之ニ精

神ヲ入レルトデモ申シマスカ、審議會ナリ、

或ハ協議會其他ノ施設ノ點ニ於テハ、當局ハ十分慎重ナル御考慮ノ上ニ、此法案ヲシテ生々タル血ノ通ヘル此法案ノ所期ノ目的ガ達シマスヤウ、最善ノ御注意ト御努力アラシコトヲ御願スル次第デアリマス

○増田委員長 井上君

○井上委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ本委員會ニ上程サレマシタ法律案ニ對シテ、只今民政黨、政友會、第一議員俱樂部

ノ方々ガ申サレマシタヤウニ、三ツノ附帶決議ヲ付スコトニ依リマシテ、原案ニ贊成ヲ致スノデアリマスガ、長イ間質問ラシテ居リマス中ニ吾々ガ考ヘマスコトハ、此法律案ガ我國ノ産業貿易、國民生活ノ上ニ重大ナル影響ヲ持ツノデアリマシテ、本法ノ運用如何ハ洵ニ當局者ノ手腕宜シキヲ俟タナケレバナラスト考ヘルノデアリマスカラ、細心ノ御注意ヲ拂ハレテ、色々ノ弊害ノ關係カラ紛争ヲ來サナイヤウニ、立法ノ精神ヲ飽マデ遵守サレルヤウニ希望スルト共ニ、社會大衆黨ハ更ニ五ツノ希望條項ヲ付スコトヲ御願スルコトニナッテ居リマス、ソレヲ讀ンデ見マス

希望條項

一 政府ハ貿易及關係産業ノ調整ニ關ス

ル法律ノ運用ニ當リ、大資本ヲ背景ト

スル大貿易業者ノ利益ヲ擁護スルガ爲ニ中小貿易業者竝ニ關係中小工業者ヲ壓迫スルガ如キコトナキヤウ注意スベキコト

二 本法運用如何ハ全國國民經濟及ビ國民生活ニ重大ナル影響アルニ鑑ミ、貿易審議會及ビ貿易統制協議會ノ委員トシ

テ中小貿易業者及ビ直接生産者竝ニ消費者ヲ代表スル者ヲ任命スベキコト

三 資力薄弱ナル工業組合員ニ對シ唯單ナル統制ノ強化ヲ加フルトキハ工業組合内ノ資力多キ組合員ニ事業ノ制覇ヲ

許スコトニナル實情ニ鑑ミ、政府ハ工業組合員ニ對スル資金供給ノ圓滑ヲ圖ルヤウ善處スベキコト

四 工業組合ノ統制ニ於ケル生産割當ニ付テハ小工業家ヲ壓迫セザルヤウ適當ナル方法ヲ講ゼラレタキコト

五 工業組合傘下ノ労働者ニ對シテハ現行健康保險法ヲ活用シテ同法ノ恩典ニ浴セシメルヤウ圖ルト共ニ工場法ヲ改

正シテ工業組合關係労働者ニモ廣汎ニ工場法ノ適用ヲセラレタキコト

以上ノ希望條件ヲ附シマシテ原案ニ贊成シタイト考ヘマス

○増田委員長

是ヨリ採決致シマス、採決ニ先立ッテ一言致シマス、只今各派ヲ代表シテ原案ニ贊成ノ御演説ガアリ、但シ附帶決議ガアリマス、併シ社會大衆黨デハ五箇條ノ希望條項ガアリマスルガ、是ハ社會大衆黨ノ希望條項デアッテ、各派ノ一致シタ決議トハ認メラレマセヌガ、是ハ如何致シマセウカ、委員長ガ本會議ニ於テ、此委員會ノ經過竝結果ヲ報告スル際ニ、社會大衆黨カラ特ニ斯ウ云フ希望ガアッタト云フコトヲ紹介スルニ止メテ、委員會一致ノ決議デナイコトヲ明ニシタノデハ如何デセウカ、ソ

レトモ或ハ此希望條項ニ對シテハ、御異議ガアッテ之ヲ除外シテ吳レト云フ御發議ガアレバ、更ニ此事モ研究シナケレバナラスト思ヒマスガ、是ハ委員會ニ諮ッテ、委員長ハ取計ラヒタイト思ヒマス、又社會大衆黨デソレデ宜シイト云フコトデアレバ、先ヅ社會大衆黨ノ御意見ヲ聞イテ御諮リ致シマセウ

○井上委員

私共ハ出來得ルナラバ、是ガ本委員會ノ總意ニ依ッテ御贊成ヲ賜リマスレバ、非常ニ結構デゴザイマスケレドモ、何分ニモ相談スル時間ガ十分ゴザイマセヌ關係上、若シ皆サンニ於キマシテ委員會トシテ採擇ガ困難デゴザイマスナラバ、委員

長ニ於テ、少數意見ト致シマシテ議場ニ發表シテ戴キマスナラバ、非常ニ結構ダト考ヘテ居リマス、隨テ此取扱ハ私ノ方トシテハ、委員長ノ方デ社大黨カラ斯ノ如キ希望條項ガ出タト云フコトヲ報告シテ戴ケバ結構デアリマス、併シ若シサウ云フ必要ナシト云フ委員會ノ決定デゴザイマスナラバ、少數意見トシテ採決ヲシテ貫ヒタイト考ヘルノデアリマス

○行吉委員 只今井上君ノ希望決議ニ付キマシテハ、最早各派協議ノ上デ三箇條ノ決議ヲ附シテアルノデアリマス、之ニ依ッテ總テハ言ヒ盡サレテアルト、斯様心得ル者デアリマス、ドウゾ其積リデ御願致シマス

○増田委員長 只今行吉君ヨリ御聽取ノ如キ發議ガアリマスガ、ドウデゴザイマス、此委員會ノ贊否ヲ問ハズ、大衆黨ノ熱烈ナル希望トシテ、特ニ委員長ヨリ報告ノ中ヘ加ヘルト云フコトデ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○増田委員長 ソレデハ左様ニ取計ヒマス、ソコデ愈々採決ニ入りマスガ、貿易及關係産業ノ調整ニ關スル法律案、貿易組合法案、工業組合法中改正法律案、此三案ヲ一括シテ採決致シマス、此三案ニ對シ附帶決議ヲ附シテ原案贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマ

ス

〔贊成者起立〕

○増田委員長 全會一致可決致シマシタ、是ニテ終了致シマシタ、洵ニ炎暑ノ折柄委員諸君ノ熱心ナル御努力ニ對シテ御禮ヲ申上ゲマス、是ニテ散會致シマス

午後二時二十二分散會

昭和十二年八月六日印刷

昭和十二年八月七日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所